

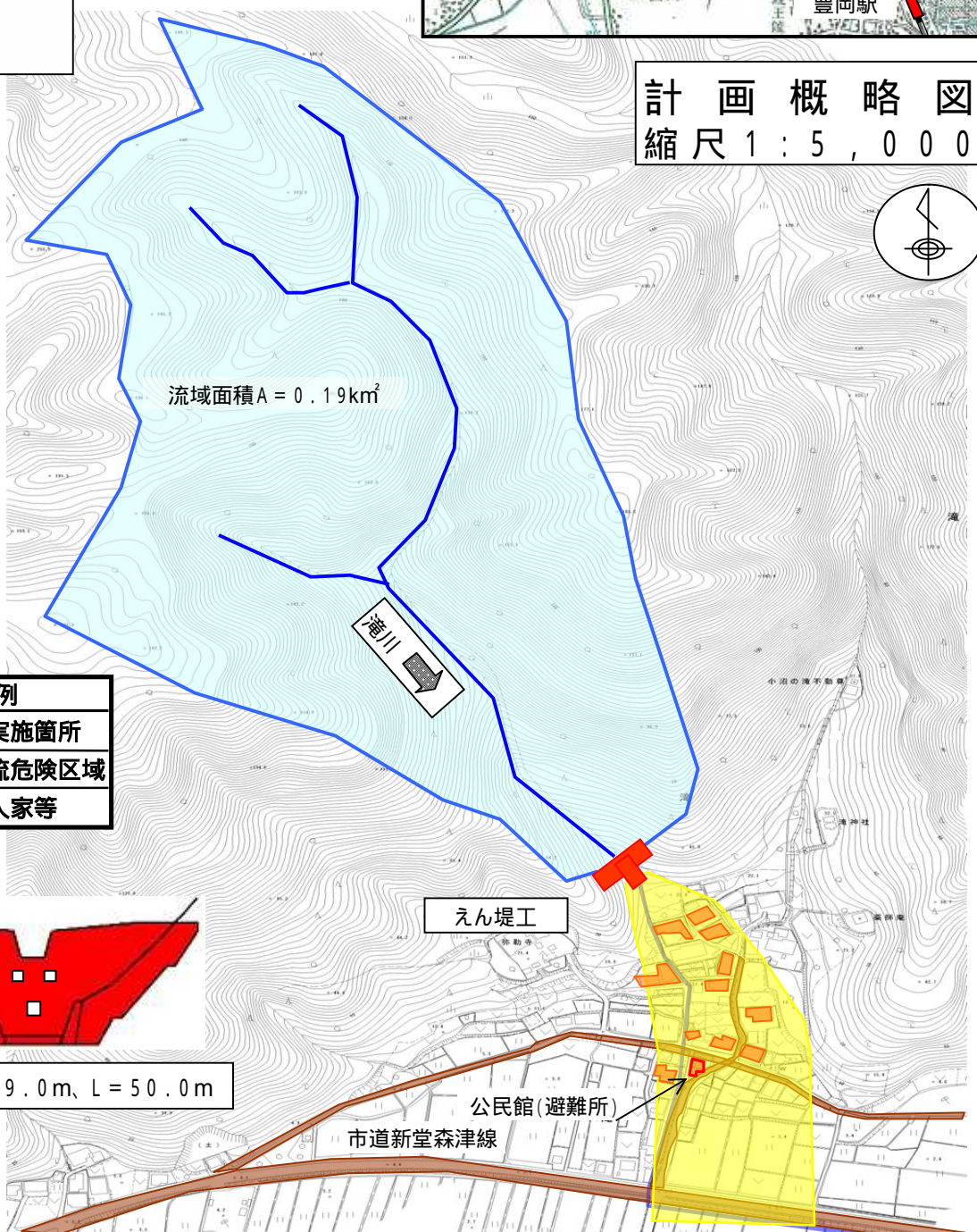
## 投資事業評価調書（新規）

部課室名	砂防課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	砂防課長 尾崎 幸忠 (木戸 徹)	内線	4459 (4465)
事業種目	砂防事業	事業名	事業区間	総事業費	1.5億円
		通常砂防事業 たき 滝川	豊岡市 たき 滝	内用地補償費	0.1億円
所在地				着手予定 年 度	完成予定 年 度
豊岡市滝				H22	H24
事業目的			事業内容		
土石流対策 当溪流は土石流危険溪流に該当し、溪岸の浸食が進むなど、土石流発生危険性が高まっている。このため、えん堤の設置により、家屋、道路等を土砂災害から保全し、地域の安全・安心な暮らしを守る。			・砂防えん堤工 1基 (H = 9.0m, L = 50.0m) [負担割合 国:1/2、県:1/2]		
評価視点	評価結果の説明				
(1)必要性 〔流域の状況〕	・(一)円山川水系奈佐川に流入する土石流危険溪流 ・近年の降雨により溪岸の浸食が進み、風倒木も多数発生しているなど、流域の荒廃が進行している。 ・溪床には土砂が厚く堆積しており、土砂災害の危険性が高い。				
〔保全対象等の状況〕	・土石流が発生した場合の氾濫面積は約2ha(長さ250m、最大幅100m程度)に及ぶ。 ・人家12戸、市道(避難路:約300m)、公民館(避難所)				
(2)有効性・効率性 〔効果〕	・上記保全対象を守り、地域の安全・安心な暮らしを守る大きな効果がある。 ・平成19年度に土砂災害警戒区域を指定済みであり、警戒避難体制を整備することにより、ハード・ソフト両面からの土砂災害対策の推進が可能。				
〔事業執行環境〕	・工食用道路として市道からの寄りつきが容易であるなど、円滑な事業執行が可能である。				
(3)環境適合性	・事業に伴う地形の改変を最小限にとどめ、掘削法面の緑化を図るなど環境保全に努める。				
(4)優先性	・地域の防災拠点となる公民館の保全を図る必要があることから、早期着手に対する地元要望が強い。 以上より、H22年度に事業着手し早急な対策が必要である。				

た き が わ  
 滝 川  
 [ 豊 岡 市 ]



計 画 概 略 図  
 縮 尺 1 : 5 , 0 0 0



凡 例	
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:red;"></span>	事業実施箇所
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:yellow;"></span>	土石流危険区域
<span style="display:inline-block; width:15px; height:15px; background-color:orange;"></span>	保全人家等



えん堤工 H=9.0m、L=50.0m